

令和元年度 第1号



武蔵小金井駅(小金井市)

昭和33年に町から市になった小金井市は、人間でいえば昨年還暦となりました。武蔵小金井駅南口駅舎は緑の屋根の三角形でした。改札を入ると、下り線のホームがあり、タイミングが合えば直ぐに電車で飛び乗れました。駅前の広場を出ると左に踏切がありました。この踏切は「開かずの踏切」と呼ばれており、1時間に10分しか開かないとも言われていました。

(小金井市観光まちおこし協会 HP より抜粋)

■ 目次 ■

巻頭言

就任のご挨拶……………(2)

平成31年度北多摩東地区保護司会定期総会……………(3)

新会長・新分区長挨拶……………(4)

社会を明るくする運動……………(5)

ぶんくトビックス……………(6)

多摩連情報……………(7)

地域別定例研修……………(7)

更生保護女性会活動報告……………(7)

桐友会だより……………(8)

姉妹・友好都市……………(8)

退任・新任保護司紹介……………(8)

新広報部員紹介……………(8)

編集後記……………(8)

北多摩東地区保護司会の皆様におかれましては、日頃からそれぞれの地域で、明るくよりよい社会の実現のために、日々ご活躍いただいておりますことに、心から敬意を表します。

本年4月30日に、第7代三鷹市長に就任いたしました河村孝です。「平成」最後の日から市長としての公務をスタートし、「令和」という新たな時代の幕開けの瞬間を市長として迎え、身の引き締まる思いを抱くと同時に、時代を超えて三鷹の魅力が輝きを放ち続けることができるよう、まちづくりに取り組んでいく決意を新たにしています。どうぞよろしく願います。

さて、皆様方は、法務大臣から委嘱を受けた更生保護のボランティアとして、罪を犯した人たちの更生や少年の非行からの立ち直りを支えるという大切な使命のほかに、犯罪や非行を未然に防ぐことにも、

護司の皆様の日々のご活躍の賜物であると確信しております。

また、毎年7月の「社会を明るくする運動」強調月間では、駅頭での広報活動などにおいて中心的な役割を担っていただいております。

地域社会における安全安心のまちづくりが着実に進んでいるのは、四市の保護司会の皆様方お一人おひとりが更生保護という職責の枠を超えて、地域で日々積極的にこうした活動に取り組んでいただいているからこそであると感じています。

今後ともより一層四市の連携を深めながら、引き続きのご活躍をお願いいたします。

結びにあたりまして、北多摩東地区保護司会のみまますのびご発展と保護司の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



就任のご挨拶
三鷹市長
河村 孝

ご尽力いた
だいており
ます。近年
顕著な犯罪
認知件数の
減少は、保

平成31年度

北多摩東地区保護司会 定期総会の開催

北多摩東地区保護司会総会が、平成31年4月23日（火）武蔵野スイングホールで開催されました。

総会は会員59名来賓9名、各市事務局9名の出席がありました。

星野直治会長より、保護司活動に対する謝辞や、来賓の方々への感謝の言葉があり、東京保護



観察所立川支部、柴田由佳支部長からご挨拶をいただきました。

総会の進行は、須藤利一総務部長により、議長は池谷敏子保護司（国分寺）副議長には宅島正孝保護司（小金井）書記は青山純一氏（三鷹市役所）を選出し議事に入りました。

平成30年度活動報告を田中良人副会長より、収支決算書を田中久美子会計理事が報告しました。

続いて監査報告を真壁敦子監事が報告し、その後「会則の一部改正」を星野直治会長が説明しました。

役員改選では、星野直治会長より役員案が提示され、新会長には小山茂保護司（小金井）が選任され、新会長より新理事の紹介及び新体制に向けた挨拶がありました。

次に小山茂会長より、平成31年度活動計画（案）及び田中

久美子会計理事より収支予算（案）の説明があり、全員一致で全ての議案は原案通り承認されました。

続いて来賓の松下玲子武蔵野市長、西岡真一郎小金井市長、井澤邦夫国分寺市長、四市市議会代表の寺井均三鷹市議会副議長より祝辞をいただきました。

その後、岡田英一前副会長より来賓のご紹介に続き、祝電の披露及び、清原慶子三鷹市長からの祝辞を代読しました。

小美濃晃子前副会長より閉会の挨拶で総会は終了しました。

懇親会は、小川和男新総務部長の司会により、小山茂会長の挨拶に続き、星野直治前会長の乾杯の発声により始まりました。

西岡真一郎市長を始め、来賓の方々和やかなうちに、千本木勘博副会長の意気のある中締めでお開きとなりました。

（総務部 宅島 正孝）

北多摩東地区保護司会役員

任期…平成31年定期総会（4月）
（令和3年（4月））

役職	氏名	分区名
会長	小山 茂	（小金井）
副会長	宮下みさ子	（武蔵野）
副会長	松村 久子	（三鷹）
副会長	千本木勘博	（小金井）
副会長	田中 良人	（国分寺）
会計理事	望月加奈子	（武蔵野）
会計理事	田中久美子	（国分寺）
理事	立川八重子	（武蔵野）
理事	村雲 祐一	（武蔵野）
理事	真壁 敦子	（三鷹）
理事	須藤 利一	（三鷹）
理事	宇田川正浩	（三鷹）
理事	渡邊 卓利	（小金井）
理事	小川 和男	（小金井）
理事	藤尾 忠洋	（小金井）
理事	峯岸 桂一	（国分寺）
理事	和地 誠一	（国分寺）
監事	岡田 英一	（三鷹）
監事	大澤 正男	（小金井）
総務部長	小川 和男	（小金井）
地域活動部長	村雲 祐一	（武蔵野）
研修部長	須藤 利一	（三鷹）
広報部長	和地 誠一	（国分寺）

（注）副会長は分区長を兼務

会長就任のご挨拶

北多摩東地区保護司会

会長 小山 茂



4月23日(火)
開催の総会において皆様から推挙をいただき北多摩東地区保護司会の会長に就任いたしました。

もとより浅学非才の私にとりまして大役で不安ではございますが、保護司をはじめ各市役所事務局、更生保護女性会等関係者の皆様のご支援ご協力をいただきながらこの重責を全うしていく所存です。よろしくお願い申し上げます。

さて、ここ数年、東京保護観察所を中心に直面している課題として保護司の安定的確保について議論がなされています。当保護区の直近の保護司の充足率は78・3%であり、保護司適任者の確保が進まないとさらに減少が見込まれます。

平成31年3月に国は「保護司の安定的確保に関する基本的指針―10のアクションプラン」を策定しました。当保護区としても保護司会

活動が安定的・持続的に行えるよう保護司の増員を図るためにこのプランの取り組みを推進していかねければならないと考えています。紙幅の関係で誠に意を尽くせませんが、保護司会の運営につきまして皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

新分区長挨拶

武蔵野分区

武蔵野分区長 宮下みさ子



平成最後の総会において、分区長という大役を務めさせていただきました。

ただくことになりました。保護司という意味を改めて考えてみますと、犯罪や非行をして「保護観察」を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのるといふ指導をしています、と書かれています。対象者の立ち直りには、家族や地域社会の温かい心が必要です。保護司が学び合い、より良い活動になりますようにと思っております。

三鷹分区

和をもって活動

三鷹分区長 松村 久子



私が平成12年に保護司になりましてから、8名の分区長のもとで活動してきました。その時代ごとに、それぞれ熟考を重ね、工夫されて会が発展してきました。

保護司の務めには保護観察や生活環境の調整などの事件事務があります。それと共に「社会を明るくする運動」など犯罪予防活動にも積極的に活動してきました。令和元年になり再犯の防止活動等に必要とされる計画が具体的に示されつつあります。三鷹分区もいずれ対応が求められると思えますが、市民の安全安心のために貢献していきたいと考えております。

保護司一人ひとりがやりがいを持って活動ができる組織になるよう努めてまいります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

小金井分区

小金井分区長 千本木勲博



去る、4月16日(火)の平成31年度小金井分区総会において、1月の臨時総会で分区の役員選出にあたり、私が前小山分区長の後任として指名されました。

私は、15歳の頃から剣道を始めて約60年余り、実意をつくし誠意もって礼を尽くすを主唱とし歩んでまいりました。剣道は本来、技術的にも人と人との係わり(気配り・思いやり・感謝)を修練し、人間形成に努め、導き、指導していく。その経験を生かして、常に自己の研鑽に励み人格識見の向上に歩んでまいりました。

元号が変わり「令和」本年、小金井分区分区長として北多摩東地区保護司会・小金井分区、そして、各市行政職員の皆様方との信頼関係を築きつつ、更生保護事業等に取り組みたく、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

第69回

社会を明るくする運動

「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ」

武蔵野分区



社会を明るくする運動をJR吉祥寺駅前と武蔵野駅前にて7月6日(土)に行いました。

松下玲子市長をはじめ、保護司、社会を明るくする運動推進委員の方が参加されました。

たすき掛けにのぼり旗を掲げ、行きかう方々に「犯罪や非行のない明るい社会を」と声掛けをしない

がらりフレットやティッシュを配りました。(木川 憲子)

三鷹分区

7月1日(月)午後3時より三鷹駅南口にて、社会を明るくする運動の広報活動を行いました。朝から降っていた雨が昼過ぎに



上がり、時折涼しい風も吹く中、河村三鷹市長をはじめ三鷹警察署長、各関係団体の皆様、事務局の方々、保護司18名を含め70名が参加しました。皆様タスキをかけ、

のぼり旗を掲げ、リーフレットと映画のつどいのチラシ、ウエットティッシュを配り、活動のアピールをしました。(大野 寿美子)

小金井分区

駅頭広報活動

7月1日(月)午後4時半より、武蔵小金井駅と東小金井駅の駅頭において、「社会を明るくする運動」の一環として、啓発ポケットティッシュを駅利用の人や買い物をする市民の方々に配布し、犯罪や非行のない明るい社会を築くための呼びかけを行いました。

保護司をはじめ、関係団体の方々、市内の中学校五校の中学生や引率の先生方も参加して、大きな声で呼びかけを行いました。

生憎の雨模様になりましたが、「頑張ってください」の声を頂きながら、元氣よく予定した時間まで広報活動を行い、無事に終了することができました。

(鈴木 忠良)



国分寺分区

ひまわりコンサート

社明運動のシンボルひまわりの



名を冠にしたひまわりコンサートを市内小・中学校の吹奏楽部に参加してもらい毎年開催しています。

今年も3月22日(金)市立いずみホールで中学生の部が行われました。各校工夫を凝らし、演奏は素晴らしく合同バンドは迫力満点でした。

合間に北東BBS会、保護司会による社明運動の活動内容発表もあり、多くの来場者に社明運動をアピールすることができました。

(田中 久美子)

ぶんくろピックス

武蔵野分区



常に少年とともに

この言葉は、5月4日(土)に視察で訪れた新潟少年学院の初代院長が提唱された院是です。

この少年院では、この院是を基本姿勢として矯正教育を行っており、豊かな自然を生かしたハイキングや冬のスキーを通じての矯正教育、社会性や就労意識を向上さ



を許し一緒にクリスマスを迎えました。

「REスタート」が子どもたちに伝わり、環境にも心を寄せる行事でした。(鎌田 広美)

三鷹分区



せる訓練を行っていました。現在入院している少年は55名、その内、特殊詐欺犯(振り込め詐欺)が16名で、年々増加傾向にあるとのことでした。また、入院する少年は虐待を受けている子も多く、入院中の少年の27%ということ、最近の児童虐待の事件を考えさせられました。(高橋 榮治)

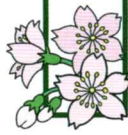
映画のつどい

7月22日(月)社会を明るくする運動の一環として、三鷹分区では「映画のつどい」を開催しました。夏休みが始まった子どもたち・保護者・関係団体の方94名で、映画観賞とクリーンプラザふじみの見学をしました。

映画の中で、孤独からクリスマスが嫌いになったグリーンチは、街中のクリスマススを盗みます。その途中少女との出逢いで間違いに気づき、みんなに謝り、人々はそれ



小金井分区



小金井分区管外研修

6月10日(月)事務局を含め、14名の参加により、前橋市の赤城少年院を視察しました。

赤城少年院は平成19年の少年法一部改正により、14歳未満の少年を収容する施設に指定されています。



院内では義務教育を終了していない院生もいることから、義務教育課程を履修させ、学力の向上を図る矯正教育を行っています。

標準的な教育期間は、概ね11カ月で、出院後は保護観察に移行します。

出院後のフォローとして、各種相談や近況報告のための相談窓口が設けられています。

しかしながら、手厚い指導にも関わらず、再犯率は高いようで、若年院生に対する矯正教育の難しさを感じられました。

(小山 直子)

国分寺分区



国分寺ぶんぶんチャンネル



国分寺市の魅力を発信する新たな広報媒体として、平成30年4月より「国分寺ぶんぶんチャンネル」という広報番組が始まりました。

今回は「地域の力が何より大事です！社会を明るくする運動」がテーマでした。犯罪や非行の防止と立ち直りを支える全国的な運動であることとシンボルマークの幸

せの黄色い羽根をPRしました。

また、ひまわり迷路や市内のイベントブースで刑務作業製品を販売していますが、そこでマスクトキャラクターである「しゃるる」の付箋・缶バッジ等のオリジナルグッズを配布して、社明運動を盛り上げる工夫をしていることも発信しました。

インターネットのユーチューブでいつでも観ることが出来ます。

皆様、どうぞご覧ください。

(水野 瑠美)

多摩連情報

令和元年度理事会を開催

多摩連理事会を5月24日(金)に開催し、各地区から理事84名が出席しました。

同理事会においては、これに先立ち4月22日に行われた新旧常任理事会の席上で選考された新役員案が承認され、次のとおり決定しました。

顧問

野崎 重弥 (北多摩北会長)

会長

小山 典子 (町田地区会長)

副会長・総務部長

山田 拓男 (北多摩西地区会長)

副会長・研修部長

栗井 洋子

(日野・多摩・稲城地区会長)

副会長・地活部長

小山 茂 (北多摩東地区会長)

副会長・広報部長

高野 佳子 (府中地区会長)

監事

森崎 陽子 (八王子地区)

岡田 英一 (北多摩東地区)

この他、平成30年度の事業報告・収支決算報告、令和元年度の事業計画・収支予算が審議され承認されました。この理事会をもって、新役員のもと新年度の活動が本格的にスタートしました。



地域別定期研修

平成31年度第I期地域別定期研修
研修テーマ

「対象者の秘密の保持について」
保護司になってまだ4年目の新人です。

保護司になって直ぐに2日間講習を受けて保護司になるわけですが、教わるが多すぎて覚えきれませんでした。その後、環境調整数件と、対象者を受け持ちました。その度に研修で渡されたテキスト引っぱり出して復習しました。事例検討を進めていくうちに、対象者の経歴など対象者の人



生、その家族にも関わっていることを改めて分かりました。対象者に対して色々な情報収集は大切だが、使い方を間違えると自分自身が噂の発信者と勘違いされ、大変なことになった事案があったことを教わり、対象者とご家族から不信感を抱かれて自分だけではなく自分の家族にも迷惑がかかることがわかりました。これからは、今まで以上に慎重にかつ紳士的に対象者に向き合おうと思えました。
(渡邊 芳弘)

研修のお知らせ

第二期地域別定期研修

● 武蔵野・三鷹

11月15日(金)14時～

三鷹駅前コミュニティセンター

● 小金井・国分寺

11月22日(金)18時30分～

国分寺市立本町・南町地域センター

第三期地域別定期研修

● 武蔵野・三鷹

令和2年2月13日(木)18時30分～

三鷹駅前コミュニティセンター

● 小金井・国分寺

令和2年2月20日(木)14時～

国分寺市立本町・南町地域センター

更生保護女性会活動報告

総会を終えて

更生保護女性会

会長 林 邦子



元号が令和に変わった5月13日(月)に開催された北多摩東

地区更生保護女性会の総会において立川八重子前会長より会長を引き継ぐことになりました。

総会当日は、ご来賓に各市長、北多摩東地区保護司会会長、四市会員の皆様のご出席をいただき、議案全てが承認され新体制がスタートいたしました。

更生保護女性会は、保護司会と女性の目線で「母の心」として連携していかれたらと思っています。よろしくご指導をお願いいたします。

新役員は次のとおりです。

会長 林 邦子(三鷹)

副会長 大久保良子(武蔵野)

鈴木 静子(小金井)

田中久美子(国分寺)

会計 佐藤みよ子(三鷹)

宮崎 邦子(国分寺)

(平成31年4月～令和4年3月)

桐友会だより

山代 法道



本年は5月1日(水)平成から令和の時代へ変わり、記念すべき令和元年5月22日(水)武蔵野市において北多摩東桐友会総会が開催されました。

総会には北多摩東地区保護司会から小山茂会長をはじめ副会長(四市の分区長)及び同地区更生保護女性会から林邦子会長が出席され、ご祝辞をいただきました。

総会は例年どおり、事業、会計関係の審議、議決がなされました。今年には会員の増加もあり36名中18名の参加でした。

事業としては、総会のほか各分区ごとに懇親会を開催し、保護司会の行う行事への参加でした。

本年は役員改選がありました。

世話人 山代 法道(武蔵野)

片野 理代(三鷹)

本木 治子(小金井)

二瓶 洋子(国分寺)

第39回「東京桐友会会員の集い」

● 日時 9月5日(木)

10時30分～

● 会場 アルカディアア市ヶ谷

年二回発行

昭和四十八年十月一日創刊

令和元年九月一日発行

武蔵野市：富山県南砺市

県の南西端に位置し、市の約8割を占める森林の一部は白山国立公園に指定されています。北側の平野部は豊かな水に恵まれた水田地帯で、美しい「散居村」の風景が広がります。

また、「合掌造り集落」などの文化資源から、先駆的な「世界演劇祭」「国際木彫刻キャンプ」などの芸術イベントまで、多様化する観光需要に応じています。

町村合併前の旧利賀村と昭和47年に姉妹都市の盟約を結んで以来、息の長い交流をしています。



五箇山合掌造り

三鷹市：福島県西白河郡矢吹町

日本三大開拓地の一つとして、現在も広大な美田を有し、人口約17,000人の矢吹町と三鷹市は、昭和39年(1964年)の東京オリンピックの年に姉妹市町関係を締結しました。今年には姉妹市町交流55周年を迎え、現在でも、様々な事業・イベントでの特産品販売や子ども交流会、管弦楽団交流やバレーボール交流試合などの文化・スポーツ交流が行われています。



姉妹・友好都市

小金井市：三宅島との友好

小金井市と三宅村は、昭和53年に友好都市盟約を結び40周年を迎えました。現在では、小金井三宅島友好協会が主催して、年に2回程度の三宅島への旅行を実施しています。

また夏には青少年自然文化体験交流事業として、中学生・高校生サブリリーダーを育成し、三宅島の方々と交流を深めています。また市内の小学生30人を派遣し火山体験学習、海辺の自然観察、バードウォッチング、シーカヤック体験、三宅村児童との交流リクリエーション、三宅村伝統芸能鑑賞などを実施し交流を深めています。



国分寺市：新潟県佐渡市

国分寺市の姉妹都市は佐渡市。豊かな自然を有し東京23区の約1.5倍の面積を持ち、多彩な郷土芸能が根づく街です。

佐渡市との縁は、およそ1200余年前の天平時代に聖武天皇の詔によって建立された佐渡国分寺と武蔵国分寺が取り持つてくれました。平成元年4月に佐渡市誕生前の旧真野町と先に姉妹都市盟約が結ばれ、その後平成16年に島内10の市町村が合併し佐渡市が誕生しました。翌平成17年2月に改めて姉妹都市の提携を盟約し現在に至ります。



退任保護司

永い間お疲れ様でした。今後も益々お元気で活躍下さいますよう祈念申し上げます。

菅麻 光氏(小金井分区)

令和元年5月14日付 在職32年

森田 忠男氏(国分寺分区)

令和元年5月14日付 在職30年

新任保護司

令和元年5月15日発令

今後のご活躍に期待いたします。



岩井 昭治氏 (武蔵野分区)



金子 千佳氏 (国分寺分区)



首藤 毅彦氏 (国分寺分区)



輿水 香氏 (国分寺分区)

新広報部員紹介

- 部長 和地 誠一 (国分寺)
- 副部長 信山 勝由 (小金井)
- 会計 三橋 優子 (三鷹)
- 幹事 高橋 榮治 (武蔵野)
- 幹事 和田 俊彦 (三鷹)
- 幹事 川畑 青史 (小金井)
- 幹事 林 博行 (国分寺)
- 青山真市郎 (武蔵野)
- 木川 憲子 (武蔵野)
- 阿部 勉 (三鷹)
- 小山 直子 (小金井)
- 長谷部 豊子 (国分寺)
- 小泉 利康 (国分寺)

編集後記

新たな時代を迎え、広報部会はスタートしました。今回、部会では、会報誌の編集作業の効率化について話し合い、部員の皆様のご知恵と工夫で130号を発行することができました。ご寄稿くださった方々にも、感謝申し上げます。今後とも皆様のご協力よろしくお願ひいたします。 広報部員一同

発行者 編集人

北多摩東地区保護司会 和地誠一 電話〇四二(五七二)二六三六